

平成 2 1 年度

福島町議会定例会 4 月会議

平成 2 1 年 4 月 3 0 日 (木)

諸 般 の 報 告  
(第 1 号)

福 島 町 議 会

## 提出された案件

### 1. 町長提出

- 議案第1号 町税条例の一部改正について  
議案第2号 福島町国民健康保険条例の一部改正について  
議案第3号 丸山団地町営住宅建設工事の内建築主体工事請負契約の締結について  
議案第4号 火葬場建設工事の内建築主体工事請負契約の締結について  
議案第5号 平成21年度福島町一般会計補正予算（第1号）

### 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	村田 駿	副町長	竹下 泰弘
総務課長兼総務グループ参事	川岸 勤	総務課企画グループ参事	出羽 正機
財務課長兼財務グループ参事 兼税務グループ参事	花田 春夫	出納室長	本庄屋 誠
町民課長兼福祉グループ参事	鳴海 清春	町民課住民グループ参事	沢田 勝男
産業課長兼水産グループ参事	三鹿 菊夫	産業課農林グループ参事	工藤 昭一
産業課商工グループ参事	近藤 勝弘	建設課長兼建設グループ参事 兼水道グループ参事	横内 俊悦
吉岡支所長	極 檀 忠男	福島保育所長	(沢田 勝男)
福祉センター次長	(盛川 哲)		
教育長	丁子谷 雅男	教育委員会教育次長 兼学校教育グループ参事	土門 修一
教育委員会生涯学習グループ参事	盛川 哲	学校給食センター所長	(土門 修一)
監査委員	花田 修一	監査委員補助職員	(石堂 一志)

### 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	石堂 一志	議会グループ総括主査	前田 勝広
議会グループ主事	澤田 元気	議会グループ書記	鳴海 千草

### 監査報告

4月9日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。（水道事業会計）

4月10日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。

（一般会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療費特別会計）

## 委員会の調査報告等

4月21日 総務教育常任委員会から、所管事務調結果の報告があった。

## 一部事務組合議会等の報告

4月27日 平野隆雄議員から、平成21年第1回渡島西部広域事務組合臨時会の報告があった。

## 議会に関連した諸行事（平成21年第1回定例会後 本日まで）

- 3月27日 平成21年度第1回渡島西部広域事務組合臨時会（関係議員）
- 〃 福島町椎茸生産組合定期総会（議長）
- 3月30日 議会運営委員会（平成21年第1回定例会の反省事項ほか）
- 4月1日 福島町観光協会通常総会（議長ほか）
- 4月3日 福島保育所入所式（議長）
- 4月6日 吉岡小学校入学式（議長ほか）
- 〃 福島小学校入学式（川村議員ほか）
- 〃 福島中学校入学式（議長）
- 〃 吉岡中学校入学式（副議長ほか）
- 〃 春の交通安全運動町民大会（議長ほか）
- 4月8日 福島商業高等学校入学式（副議長ほか）
- 4月10日 吉岡幼稚園入園式（佐藤（卓）議員ほか）
- 〃 福島保幼稚園入園式（木村議員ほか）
- 〃 第1回市町村議会議員セミナー出講（大津市 議長）
- 4月13日 福島町林野火災予消防対策協議会（杉村議員）
- 4月15日 議会運営委員会（議会基本条例概要版の作成ほか）
- 〃 高知県吾川郡議長会行政視察受入れ（開かれた議会・議員の活性化、通年議会について）
- 4月16日 福島町自衛隊父兄会定期総会（議長）
- 4月23日 千葉県袖ヶ浦市議会視察受入れ（議会・議員の評価、議会活性化の方策について）
- 4月25日 第9回北海道福島総会（東京都 議長）
- 4月26日 市民と議員の条例づくり交流会議出講（東京都 議長）
- 4月30日 議会運営委員会（定例会4月会議の運営）

福 議 委 号  
平成 21 年 4 月 20 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会  
委員長 平 野 隆 雄

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、平成 21 年 3 月 17 日福島町議会第 1 回定例会において議決を得た、閉会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 142 条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調 査 事 件	中学校教育用コンピュータ整備事業について
調 査 期 間	平成 21 年 3 月 24 日 (1 日間)
出 席 委 員	3 月 24 日 (木)
	委 員 長 平 野 隆 雄
	副 委 員 長 滝 川 明 子
	委 員 佐 藤 卓 也
	〃 加 藤 雅 行
〃 藤 山 大 基	
〃 溝 部 幸 基	
欠 席 委 員	な し
委 員 外 議 員	議 員 木 村 隆 議 員 川 村 明 雄 議 員 佐 藤 孝 男
出 席 説 明 員	町 長 村 田 駿 副 町 長 竹 下 泰 弘 教 育 長 丁 子 谷 雅 男 教 育 委 員 会 教 育 次 長 木 村 修 教 育 委 員 会 学 校 教 育 グ ル ー プ 総 括 主 査 飯 田 富 雄
議 会 事 務 局 職 員	議 会 事 務 局 長 石 堂 一 志 議 会 グ ル ー プ 総 括 主 査 坂 口 稔

## [委員会意見]

### 調査事件 1 中学校教育用コンピュータ整備事業について

(平成 21 年 3 月 24 日調査)

現在の中学校教育用コンピュータは、平成 12 年度に更新されたもので、基本ソフトが古いことによる不具合や経年劣化による故障が生じていることと、近年、総合学習等によるプレゼンテーションソフトの必要性が求められており、平成 21 年度事業として、福島・吉岡中学校のコンピュータ・サーバの更新と校内 LAN などの整備が予定されているものである。

平成 21 年 2 月 20 日の調査において整備概要が示され、パソコンやソフト等の見直し、近隣町の状況やインターネットでの調査などで全体の購入コストの削減を検討すべきであるとの意見が出され、今回専門的知見を活用して調査したところであり、次のとおり報告する。

#### 1. 平成 21 年 2 月 20 日の調査内容

更新事業費、中学校及び小学校児童数の推移、整備内容の資料に基づき、質疑及び意見交換を行った。

#### 2. 調査意見

現在の中学校教育用コンピュータは、整備後 8 年が経過しており、教育設備環境の充実には必要な事業であると考えられるものである。

平成 20 年 2 月 20 日開催の委員会における調査では、福島中学校と吉岡中学校 2 校の整備費が 17,699 千円、クライアントサーバ方式とする計画が示された。

当該調査における主な意見は前述のとおりである。これを受けて、本委員会としては、専門的知見による調査を計画し、実際に八雲町の学校教育用コンピュータ整備を設計施工した、情報政策室次長吉田 邦夫氏に調査をお願いしたところである。

この質疑及び意見交換では、八雲町の学校コンピュータ整備の説明を受けながら、先に示されている整備計画の内容を確認し、さらに八雲町における学校ネットワーク構築の手法について、メリット・デメリットの説明を受けたところである。

本委員会としては、八雲町の 3 つの学校ネットワーク構成を参考に、福島中学校は「クライアント・サーバ型」、吉岡中学校は「単純ネットワーク＋VLAN 型」とし、学校の規模に応じたネットワーク構築により整備費を最小限に抑える努力を望むものである。

なお、吉田邦夫氏より提出のあった「福島町における教育用パソコン整備に関する報告書」を参考として添付する。

# 福島町における教育用パソコン整備に関する報告書

八雲町役場情報政策室

次長 吉田 邦夫

## 1、はじめに、

先般、福島町議会の要請により総務教育常任委員会において、八雲町における教育用パソコン整備の基本的考え方、及びその手法について説明をさせていただきました。

また、平成21年度福島町では、福島中学校、吉岡中学校の両校が整備予定であることから、先に開催された同委員会資料「◇中学校教育用コンピュータ整備内容」への意見(感想)を求められました。しかしながら、記述内容が大枠であり、両校の実態も把握していないため、残念ながらパソコン整備の目的、ネットワーク構築の具体的な手法を判断(推測)出来ず、的確な意見を述べられませんでした。

そこで、八雲町での整備事例を参考に、2中校のパソコン整備について、意見(感想)をまとめたと思います。

## 2、学校と十分な事前協議をして下さい

整備先の学校とは、事前にパソコン整備に向け、十分な協議が不可欠です。特に直接パソコンを指導する先生の意見は重要と考えます。

学校からの要望を第一にと考えますが、過大な整備内容にならぬよう、十分に注意しなければなりません。

得られた学校からの要望を基に、基本設計の概要、さらに仕様書(案)(ネットワーク、ハード・ソフトの仕様、セキュリティ対策等)が作成されます。(業者等の意見も参考にしながら、教委(町)担当者が作成することになります)

この仕様書(案)について、学校との協議を重ねる中で、パソコン整備に向けた共通認識が築かれるものと考えます。

## 3、ネットワーク構成を理解し整備を進めて下さい

八雲町での学校ネットワーク構成を大別すると別紙1のとおり3パターンに整理出来ます。これは、ネットワーク構築の大きな目的である「ファイル共有」に対するセキュリティの堅牢さにより区分されています。八雲町では、基本的に小学校は「Ⅱ：単純ネットワーク+VLAN型」、中学校は「Ⅲ：クライアント・サーバ型」へ整備を進めております。

教育委員会における考え方や、学校との運用面における協議により、決定することではあります。が、整備台数の少ない中学校では、「Ⅱ：単純ネットワーク+VLAN型」でも、十分なセキュリティは確保されると考えられます。

よって、福島中学校では「Ⅲ：クライアント・サーバ型」、吉岡中学校では、「Ⅱ：単純ネットワーク+VLAN型」を軸に整備を進めるのが妥当と思われます。

いずれにしても、的確なネットワーク構成を教委(町)が、理解し整備していくことがポイントです。

#### 4、コスト削減に向けた取り組みを進めて下さい

仕様書の作成にあたり、同一規格品においても価格に大きな違いが見受けられます。整備するパソコン機器類は、耐用年数4年(サーバは5年)と意外に短く、財政事情にも左右されますが、5～7年程度で更新されるのが一般的と思われます。

そこで、俗に言う業務仕様の高価な機器では無く、民生品レベルの機器で構築することにより安価な仕様を作成できます。

次に、本当に必要な物なのかを、十分に見極める必要があります。

例えば、インターネット環境のブロードバンド化の普及により、八雲町では、各学校単位に設置していたPROXY(インターネットへの同時接続を管理する専用サーバ)を順次廃止しています。結果、実効速度に大きな差はみられず、不具合も生じていません。それにより、コスト的に大きな削減がなされました。

さらに、スケールメリットを生かすネットワーク構築が、コスト削減に大きく寄与します。

これは、全学校のネットワークを役場等に統合し、プロバイダ、コンテンツフィルター(有害サイト除去)等の経費を削減しようとするものです。八雲町では、全小中学校19校及び町出先11施設の30施設を統合しコスト削減を図っています。

縦割りではなく、関係部署を横断するネットワーク構築が肝要だと思います。

#### 5、住民との協働も可能だと思います

「ネットディ」等の手法により、住民参加でパソコン整備を進める事も可能だと思われます。先進自治体(教育委員会)の事例がインターネットで多数紹介されています。

道南では、実施事例も少ないことから、福島町の教育用パソコン整備についてこの手法がとられたなら、町内外の方々に関心を持って頂けるインパクトの大きいものになると思われます。当然、コストの削減も期待できます。

問題は、町(庁)内で技術コーディネーターを探せるか鍵だと思いますが、意外な人材が何処の町にも隠れているのではないのでしょうか。

#### 6、まとめ、

自治体により様々な考え方があり、それがそのまちの特色とも言えます。残念ながら、昨今の経済状況下では、無駄のないスリムな行政運営が命題となっており、その自治体の特色さえも色褪せそうになっています。

しかし、まちの未来を支える子供達に最良の教育をと願うのは、皆同じです。

ICTには大きな可能性があり、小中学校でのパソコン教育には、国も大いに力を入れているところであります。

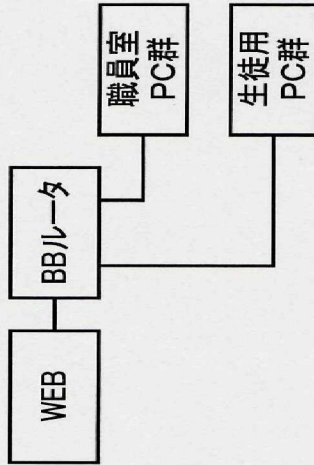
自治体としては、学校で望まれるパソコン整備を、いかに適正な価格で導入するかだと思います。そのためには、難題ですが、担当職員のスキルアップが必要であり、そのバックアップも必要不可欠と考えます。

最後に、福島中学校、吉岡中学校の両校に、より良いパソコン整備がされることを願います。

I 単純ネットワーク型

セキュリティ対策=X

生徒PCと職員PCは相互にのぞける



機器の設定  
・BBルータの設定(容易)

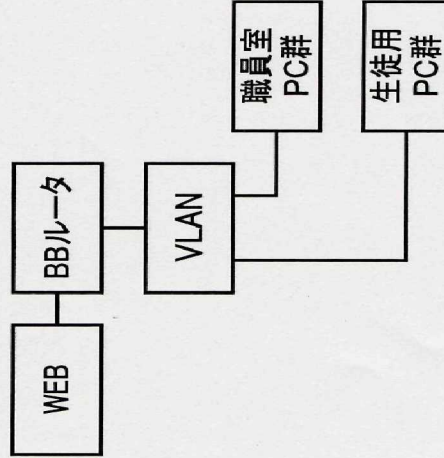
ネットワーク規模  
・一般家庭と同じ方式

ウイルス対策  
・無料版が使える

II 単純ネットワーク+VLAN型

セキュリティ対策=O

生徒PCと職員PCは双方のぞけない  
(LAN配線の系統で区分する)



機器の設定  
・BBルータの設定(容易)  
・VLANの設定(容易)

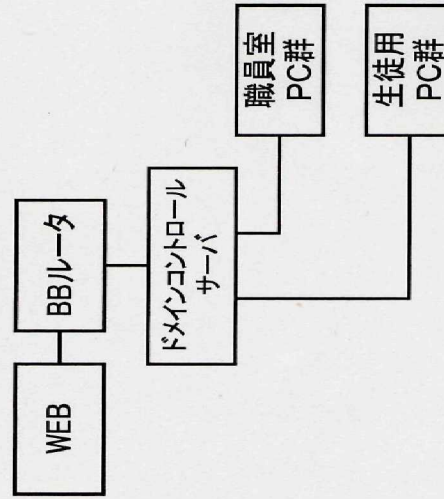
ネットワーク規模  
・ネットデイでよく使われる学校型

ウイルス対策  
・無料版が使える

III クライアント・サーバ型

セキュリティ対策=O

例えば、生徒PCから職員PCだけはのぞけない  
(ユーザの権限で区分する)



機器の設定  
・BBルータの設定(容易)  
・ドメコンの設定(難易)

ネットワーク規模  
・ネットワーク管理者が必要な大企業型

ウイルス対策  
・クラサバ対応は有料のみ

## 渡島西部広域事務組合議会の報告

平成21年3月27日に開催された、平成21年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

平成21年4月30日 提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

## 渡島西部広域事務組合議会の報告

平成21年4月27日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島西部広域事務組合議会議員  
報告者 平野 隆雄

平成21年3月27日に開催された、平成21年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告をする。

### 1. 議案

- 議案第1号 職員の給与に関する条例の一部改正について（原案可決）  
知内町を除く各構成町は、引き続き厳しい財政事情対策として、従前から職員の給与削減を実施しており、当組合職員についても従前同様に削減するため条例改正をしました。  
削減内容は構成町それぞれ異なりますが、給料 26,952 千円、期末・勤勉手当 19,086 千円、共済費 8,863 千円、時間外勤務手当 435 千円、合計 55,336 千円の削減、率では 7.5 パーセントの削減です。このうち、福島消防署と事務局、消防本部の削減額は 23,562 千円となります。

議案第 2 号 平成 2 0 年度渡島西部広域事務組合一般会計補正予算（第 5 号）  
（原案可決）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 3 5 6 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1, 5 6 4, 1 2 1 千円とする。福島消防署と木古内消防署の新採用職員の赴任旅費を追加している。

承認 1 号 専決処分した事件の承認について（承認）

（平成 2 0 年度渡島西部広域事務組合一般会計予算（第 4 号））

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 6 5 2 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1, 5 6 3, 7 6 5 千円とする。2 月 2 0 日の強風による松前消防署の施設修繕費を追加している。

※議案・関係資料は、議会事務局に保管しておりますのでご参照下さい。